

# 衛星画像を用いた研究

## 研究概要

目的：衛星画像の応用について研究する

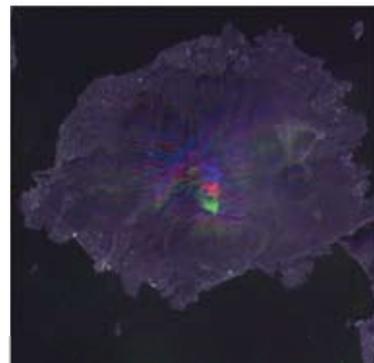
本研究では、高度690Kmにある衛星ALOSの可視画像を用いる。土地利用区分や植生のマッピング、災害状況の把握等が行える。過去からのデータが蓄積されているので、現在と比較することで、地形の変化、土地利用区分の変化等を検出することができる。



72.3 × 70Km  
分解能10m



部分拡大  
パンシャープン処理  
分解能2.5m



3方向視画像を重合  
(ずれ量⇒高さ算出)

## 企業メリット

キーワード リモートセンシング、衛星画像、GCPポイント、植生、NDVI、パンシャープン処理

## 主要な研究テーマ

- ・衛星画像を用いた高さ情報算出
- ・衛星画像を用いた植生のマッピング

## 技術相談に応じられる分野

- ・衛星画像を用いたデータ処理（土地利用区分、地形の変化、災害状況）

## 利用可能な装置等

- ・パソコン

---

所属学科：電子制御工学科 職名：嘱託教授  
氏名：宮田 千加良 Miyata Chikara  
TEL： F A X：  
E-mail：miyata@kagoshima-ct.ac.jp  
所属学会：電子情報通信学会  
研究分野(専門分野)：リモートセンシング、信号解析、故障診断